

# 病 院 開 設 事 前 協 議 書

((仮称) 神戸市立神戸アイセンター病院)

## 病院開設事前協議書

1. 開設者に関する事項

(開設者が医師である場合)

氏 名		医籍番号		
住 所	TEL			
開設者が現に病院若しくは診療所を開設管理若しくは勤務している場合には当該医療機関の概要	区 分	開 設 ・ 管 理 ・ 勤 務		
	施設の種類	病 院 ・ 診 療 所	病 床 数	一般 精神 結核 床
	名 称			
	所 在 地			
	診 療 科 目			

(開設者が法人である場合)

法 人 の 種 類	地方独立行政法人	設立年月日	平成 21 年 4 月 1 日		
名 称	地方独立行政法人神戸市民病院機構				
主たる事務所の所在地	神戸市中央区港島南町二丁目 1 番地の 11				
代 表 者	氏名	理事長 橋本 信夫	住所		
法人の目的、事業	地方独立行政法人法（平成 15 年法律第 118 号）に基づき、医療の提供、医療に関する調査及び研究並びに技術者の研修等の業務を行うことにより、市民の立場に立った質の高い医療を安全に提供し、もって市民の信頼に応え、市民の生命と健康を守ることを目的とする。				
法人が現に、病院若しくは診療所を開設している場合には、当該医療機関の概要	施設の種類	名 称	所 在 地	病床数	備 考
	病院	神戸市立医療センター中央市民病院	神戸市中央区港島南町二丁目 1 番地の 1	708 床	
		神戸市立医療センター西市民病院	神戸市長田区一番町 2 丁目 4 番地	358 床	
		神戸市立西神戸医療センター	神戸市西区糺台 5 丁目 7 番地 1	475 床	
自己資本比率 (医療法人の場合)	-				

2. 開設しようとする病院の概要

(1) 基本的事項

名 称	(仮称) 神戸市立神戸アイセンター病院		
開 設 の 場 所	神戸市中央区港島南町二丁目1番地の8		
開 設 予 定 年 月	平成29年12月1日		
診 療 科 目	眼科		
病 床 数	30床(一般30床・療養 床・精神 床・結核 床) (高度急性期 床、急性期30床、回復期 床、慢性期 床)		
特 色	眼疾患にかかる標準治療から高度医療まで地域医療を高い水準で担う基幹病院を目指す。また、眼疾患に関する臨床研究等の臨床基盤としての役割をはたしていく。		
開設趣旨及び 病床数設定の考え方  ・ 提供する医療の内容 ・ 当該地域の医療事情 ・ 近隣医療機関との連携等	基準看護又は新看護の内容(予定)		看護体制：10対1入院基本料 夜勤体制：2名体制・2交替制 夜勤時間数72時間以内の配置
	療養病床設置の予定	有(—床)・ <input checked="" type="radio"/> 無	老人特定許可の予定
	規則第30条の32第1項の規定による特例		有(—号—床)・ <input checked="" type="radio"/> 無
	中央市民病院と先端医療センター病院の眼科機能を集約・拡充し、眼科専門の病院として運営する。 ○中央市民病院との役割分担・連携体制 ・眼科一般外来(専門外来含む)、入院診療、手術は原則アイセンター病院で対応。 ・眼科救急疾患は原則中央市民病院の救急外来で対応。 ○市内医療機関との連携等 ・市内医療機関との連携体制を構築		
敷地 の 状 況	面 積	2,000㎡	
	自己所有予定 の 場 合	取得の状況	<input checked="" type="radio"/> 取得済・取得交渉中・未交渉
		交渉状況	
	自己所有予定 でない場合	所有者	
		使用形態	賃貸借・その他( )
他法令解除 の 必 要 性	有・無 内容 [ ]		
建物の 状 況	構 造 概 要	鉄骨造・7階建・延床面積4,435.6㎡	
	所有予定者	地方独立行政法人神戸市民病院機構	
	自己所有予定 でない場合の 使用形態	賃貸借・その他 [ ]	

周囲の状況	交通機関	神戸新交通株式会社 ポートライナー 医療センター（市民病院前） 駅より徒歩2分
	近隣の状況	（仮称）神戸市立神戸アイセンター病院は中央市民病院の南に隣接する。

(2) 施設及び構造施設に関する事項

法定施設	診察室	10ヶ所 137.54 m <sup>2</sup>	(科目 眼科)		
	処置室	1ヶ所 24.86 m <sup>2</sup>	(科目 眼科)		
	手術室	3ヶ所 139.63 m <sup>2</sup>	臨床検査施設	1ヶ所 24.86 m <sup>2</sup> (処置室と共用)	
	エックス線装置	なし（中央市民病院で実施）			
	調剤所	1ヶ所 82.60 m <sup>2</sup>	消毒施設	ヶ所 m <sup>2</sup>	
	給食施設	1ヶ所 111.62 m <sup>2</sup>	洗濯施設	ヶ所 m <sup>2</sup>	
	給水施設	ヶ所 m <sup>2</sup>	暖房施設	ヶ所 m <sup>2</sup>	
	汚物処理施設	2ヶ所 8.53 m <sup>2</sup>			
	分べん室	ヶ所 m <sup>2</sup>	新生児の入浴施設	ヶ所 m <sup>2</sup>	
	機能訓練室	ヶ所 m <sup>2</sup>	談話室	1ヶ所 32.10 m <sup>2</sup> (食堂と共用)	
	食堂	1ヶ所 32.10 m <sup>2</sup>	浴室	ヶ所 m <sup>2</sup>	
病室	4床室	6室 210.09 m <sup>2</sup>	床室	室 m <sup>2</sup>	
	1床室	6室 108.37 m <sup>2</sup>	床室	室 m <sup>2</sup>	
	床室	室 m <sup>2</sup>	床室	室 m <sup>2</sup>	
その他の施設					
階段、エレベーター	室内直通階段	1ヶ所、幅 1.21m、蹴上げ 18.75 cm、踏面 25 cm			
	避難階段	3ヶ所	エレベーター	3ヶ所	
設備	放射線関係	診療用エックス線装置	有 ( 直接撮影装置、間接撮影装置 透視装置、C.Tスキャナー、その他 ( ) )		⊖
		診療用高エネルギー放射線発生装置	有 ( 直線加速装置、ベータトロン、 (リニアック、ライナック)、その他 ( ) )		⊖
		診療用放射線照射装置	有 ( 60Co 照射装置、 <sup>123</sup> I 骨成分分析装置、 その他 ( ) )		⊖
		診療用放射線照射器具	有 ( 管、針、球、ビーズ、板、アプリケーション、 その他 ( )、使用核種 ( ) )		⊖

	診療用放射線 同位元素	有 ( (使用核種) ) (無)		
	臨床検査施設	心電計 (ポータブル)、 遠心機	消毒施設	
	消防用施設	スプリンクラー	防火施設	自家発電機
	その他の施設			

(3) 人員に関する事項

管理者	氏名	栗本 康夫	医籍番号	
	住所			
	主たる経歴	神戸市立医療センター中央市民病院第2診療部 眼科部長 (公財) 先端医療振興財団 先端医療センター病院 眼科統括部長		

人 員 配 置 計 画							
職名	必要数	予定数	確保済人員	職名	必要数	予定数	確保済人員
医師	4.1	13※	11	薬剤師	2	3	3
看護師	17	27	27	栄養士		1	1
准看護師				放射線技師		-	
看護補助者		1		調理師		-	
臨床(衛生)検査技師		-		事務員		7	5
理学療法士		-		その他		15	13
作業療法士		-		計		67	60

※非常勤勤務医師数については常勤勤務医師数として換算。

(4) 人員算定根拠 (計算式)

医療法に基づく医師の配置標準

$$\{(入院患者数30人 + 外来患者数200人 / 5) - 52\} / 16 + 3 = 4.1人$$

医療法に基づく看護師の配置標準

$$入院患者数30人 / 3 + 外来患者数200人 / 30 = 17人$$

医療法に基づく薬剤師の配置標準

$$入院患者数30人 / 70 + 外来患者に係る取扱処方箋数70件 / 75 = 2名$$

(5) 関係者との協議に関する事項

関係者	協議状況
地元医師会	神戸市中央区医師会に平成 29 年 4 月 4 日に説明を行った。 平成 29 年 4 月 7 日付文書により承認済み。
市保健医療審議会 医療専門分科会	平成 29 年 4 月 27 日に神戸市保健医療審議会医療専門分科会に出席・審議の上承認を得る予定。
その他	

注) 地元医師会、医療専門分科会については、予防衛生課等が意見を聞き意見書等を添付すること。

(仮称) 神戸市立神戸アイセンター病院開設に関する意見書

地方独立行政法人神戸市民病院機構

理事長 橋本 信夫 様

この度「神戸市立神戸アイセンター病院」を地方独立行政法人神戸市民病院機構として開設することに関して、中央区医師会の理事会において協議いたしました。

国際基準である眼科専門の病院を開設する事は、グローバル化と次世代の医療を開発する上では時機にかなった開設と考えます。

神戸市民病院機構としての事業であり、安定した経営運営が期待されます。

今後とも地域医療機関との密接な連携をはかり、地域医療に貢献していただくようお願いします。

平成29年4月7日

神戸市中央区医師会

会長 林 省治



新規開設又は増床を行おうとする病院の医療システム構築に関する申立書

病院名	(仮称) 神戸市立神戸アイセンター病院	所在地	神戸市中央区港島南町二丁目1番地の8		
電話番号	-	二次医療圏域名	神戸	保健所名	神戸市保健所

1. 病院の特色 (提供しようとする医療の内容)

(1) 医療の分野について (対象患者、診療科目等について)

○対象患者:

白内障、網膜硝子体サージカル、黄斑、網膜循環、糖尿病網膜症、網膜変性、緑内障、ぶどう膜、角膜/前眼部、神経眼科、斜視/弱視 等

○診療科目

眼科

(2) 医療の専門性について (設備・医療スタッフ等についても記入すること。)

中央市民病院と先端医療センター病院の眼科機能を集約・拡充し、眼疾患に関し、市民病院群の一員として神戸市域において標準医療から高度眼科医療まで地域医療を高い水準で担う基幹病院を目指す。医療用レーザー機器など最新の眼疾患治療設備を導入するとともに、医師・看護師をはじめ視能訓練士等医療スタッフについても適切に配置する。

2. 当該診療圏域の状況

(1) 対象に考えている診療圏について

二次医療圏域名	区名
神戸	市内全区

(2) 患者の特色及び医療ニーズについて

神戸市域における眼疾患にかかる標準治療から高度医療まで地域医療を高い水準で担う基幹病院を目指す。



(3) 既存の医療機関について、(特に、提供しようとする医療が同じものについて)

① 病院の状況について

名 称	病床数	診 療 科 目	役割分担等についての方策	備 考
神戸市立医療センター中央市民病院	708床	眼科 (他 36 診療科)	① 眼科一般外来診療(専門外来含)入院診療、手術は原則アイセンター病院で対応 ② 眼科救急疾患は原則中央市民病院の救急外来で対応 ③ 人員については、協力体制を構築 アイセンターの眼科医は常勤換算 13 名(常勤 11 名、非常勤 7 名)となっており、当該眼科医のうち 1 名が中央の当番医として日中業務に対応する。	

② 診療所の状況について

〔 — 〕

(4) 対象に考えている患者の推定数及び将来予測について

〔 1日当たりの患者数として、入院 30 人程度(休日除)、外来 200 人程度を予定。  
市域の将来患者数の推計として、眼科患者数は入院・外来共に増加が見込まれる。 〕

3. 医療のシステム化

(1) 取り組みたいこと又は、取り組んでいることについて

〔 眼科領域の最新の医療技術等を取り入れた新しい治療を市民が享受できる高度な眼科病院として、眼に関する専門ビル内で開設し、誰もが快適に訪れ、利用することができる市内の眼科基幹病院を目指す。 〕

(2) 医療機関との連携

医療機関名	内 容	具 体 例	医療機関名	内 容	具 体 例
神戸市内の大学病院・公的病院及び民間病院	①～⑦	各病院の特性に応じた患者の紹介及び逆紹介等	神戸市内の各診療所	①～⑦	

(注) 内容には、次のうちから該当するものの番号を記入すること。

- ①患者の紹介 ②連絡会の開催 ③後方病院、三次医療を受けもつ病院等への搬送
- ④共同症例検討会等の開催 ⑤検査の受託と委託 ⑥心電図の解折等診療情報の援助
- ⑦高額医療機器の利用 ⑧オープン病院的な運営 ⑨その他

(3) 医療機関以外との連携

機 関 名	連 携 の 内 容	備 考
保健所等	各種保健活動への講師派遣等医療情報提供支援	

〈注〉医療機関以外としては、社会福祉事務所、老人保健施設、社会福祉施設  
(老人関係、精神関係、身障関係)等が考えられる。

(4) 地域保健医療活動等への参加 (住民の健康管理等)

( 地域医療機関との連携のため、アイセンター病院に地域医療連携担当者を配置予定。 )

4. その他の特記事項

( - )

## 開設に要する資金

資金計画

(単位:千円)

項 目	所 要 額	自己資金	借 入 金			備 考
			借入金①	借入金②	リース	
土地購入費	0	0	0			
設計管理費	0	0	0			
建物建設費	3,218,552	552	3,218,000			都市振興サービスから購入
医療機器購入費	325,416	1,416		324,000		
什器備品購入費	50,000	50,000	0			
保証金	0	0	0			
諸税	0	0	0			
開設時運転資金	287,045	287,045				
その他費用	医療情報システム整備	221,000	0	221,000		
	開院準備費用	120,000	120,000	0		
	式典関連費用	1,000	1,000	0		
計	4,223,013	460,013	3,218,000	545,000		

### 返済計画

金融機関名	返済条件				初年度	次年度	3年度	4年度	5年度
	据置期間	償還回数 年×年	利率 %		29年12月 ~30年3月	30年4月 ~31年3月	31年4月 ~32年3月	32年4月 ~33年3月	33年4月 ~34年3月
借入金①分 (病院事業債)	5年	年2回× 25年	0.5%	元本	0	0	0	0	0
				利息	0	16,090	16,090	16,090	16,090
借入金②分 (病院事業債)	5年	満期一括	0.077%	元本	0	0	0	0	0
				利息	0	420	420	420	420
				元本					
				利息					
合 計				元本	0	0	0	0	0
				利息	0	16,510	16,510	16,510	16,510
年度末借入金残額					3,763,000	3,763,000	3,763,000	3,763,000	3,763,000

## 損益的収支予算書（総括）

（単位：千円）

	初年度 (29年12月～30年3月)	次年度 (30年4月～31年3月)	3年度 (31年4月～32年3月)	4年度 (32年4月～33年3月)	5年度 (33年4月～34年3月)
I 医業収益	510,319	1,637,826	1,717,127	1,717,127	1,717,127
II 医業費用	674,090	1,643,830	1,673,332	1,673,332	1,673,332
医業利益(医業損失)	▲ 163,771	▲ 6,004	43,795	43,795	43,795
III 医業外収益	4,986	14,630	14,630	14,630	14,630
IV 医業外費用	2,482	22,000	22,000	22,000	22,000
經常利益(經常損失)	▲ 161,267	▲ 13,374	36,425	36,425	36,425
V 特別利益	0	0	0	0	0
VI 特別損失	0	0	0	0	0
税引前当期利益(税引前当期損失)	▲ 161,267	▲ 13,374	36,425	36,425	36,425
当期純利益(当期純損失)	▲ 161,267	▲ 13,374	36,425	36,425	36,425
前期繰越利益(前期繰越損失)	▲ 20,000	▲ 181,267	▲ 194,641	▲ 158,216	▲ 121,791
当期未処分利益(当期未処理損失)	▲ 181,267	▲ 194,641	▲ 158,216	▲ 121,791	▲ 85,366

## 資本的収支予算書

（単位：千円）

		初年度 (29年12月～30年3月)	次年度 (30年4月～31年3月)	3年度 (31年4月～32年3月)	4年度 (32年4月～33年3月)	5年度 (33年4月～34年3月)
資本的支出	建設改良費	3,218,552	0	0	0	0
	借入金(元本)償還	0	0	0	0	0
	固定資産購入費その他	596,416	0	0	0	0
	計	3,814,968	0	0	0	0
財源内訳	内部資金	51,968	0	0	0	0
	借入金	3,763,000	0	0	0	0
	補助金	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	計	3,814,968	0	0	0	0
財源不足額		0	0	0	0	0

